

水源禅師法話集 111

(2019年5月1日 山梨合宿5日目)

2019年7月8日

一乗禅の会



目次

水源禅師法話

無量永劫時間帯での清浄心	3
全てはカルマ・因縁	5
自分の生死を観る事で苦が消滅する	8
ジャータカ物語に何をすれば良いかが書いてある	9
禅定に入ったなら法随観が出来てニミッタが出るはず	9
莊嚴浄土	10
光となって現れる仏の三十二相	11
「忍辱」耐え忍ぶことによって清浄心を得る	12
間違った教えを信じた者も一緒に行ってしまう	13
ジャータカ物語、黄金の鹿と金持ちの息子 (お釈迦様とデバダッタ)	13
十波羅蜜	16
言葉には責任が生じる・ 仏教は言いたい放題ではない、責任が出て来る	17
お経をしっかり勉強して体得して行けば、 前世の悪行も消す事が出来る	18
何故数字の事を何度も説明するのか?	18

水源禪師法話

昨日までの事で何か質問ありますか？分からなかった事とか、ちょっともう一回確かめたい事、ありますか？

無量永劫の時間帯での清浄心

【参加者】

昨日のお話で大切だった所は、無所得。無所得が大切で、それ以上に大切なものは、清浄心。

【水源師】

そうですね。清浄心がなければ、無所得をしても、ただ捨てる捨てると言って、サドゥーの世界になってきます。サドゥーというのは、一切悩み持たないで。本当のサドゥーの行をやれば、15日で死んでしまうと言われている。

ところが、前にお話ししたように、その昔、お釈迦様が一日ちょっとした爪の垢みたいな物を食べたり、虫を食べたり、寒い夜中も雪の上で座って、今度は太陽が照って暑い時に、木の下で、汗が滴り落ちるような所で、ずーっと座っていたら、地獄を見た。という話、覚えてます？

大乘にある荒難行は、南伝の方では聞かないのです。ただ、マヒンダーアラハト、キングアショーカのクラウンプリンス＝皇太子様がスリランカに行って、小さい岩、20年間、風吹いて、という所で暮らした。と言っても、そこにはお布施が来たり、いろいろな人が来るから。必ずや幕貼ったり、王子様ですから、お布施とか食べ物とか心配なく。ただ人を近づけないで、そこに持って行くと。そういう事だと思ふのです。

やっぱり、良い事聞いてくれました。清浄心。昨日お話しの中で、宮司あるでしょう？王様のチャプリン(chaplain)というのは最高の主教、カーディナルとかビショップという風な高い位の専属の人。そういう高い位に就いても、嫁さんが他の聖＝ブラーミンと浮気した事によって、怨念を発生するわけですね。

ところが、お釈迦様が、そういう事態が発生したわけですね。昔、お話ししたでしょう？お釈迦様が菩薩の時に、商売に行って家を空けていると、その時に、他の男が入って来たと。お釈迦様は「おかしい」と思って、叩き出して、

もう二度とこういう事をするなど。嫁さんにも。という風に終わっているわけ。そこでストップと。

ところが、このコカリアの前世、チャプリンの場合は、それに対する怨念という心を発生するわけですね。ですから最終的に、怨念の因果が消えないわけです。お釈迦様から助けられたわけですね、特にその時には、トゥードゥブラフマー、エンジェルが天界から降りて来て、最後のコカリア長老に「悔い改めなさい、あなたの言っている悪口とか、悔い改めなさい」と。「否。絶対止めない」という事で、大変な事になって。特にその前に、お釈迦様の前で、非常に高德なシャーリプトラ様とモッガラナーナ様の大変な悪口を言ったのだけれど。これは、彼の妬み、ジェラシーで。大尊者が居る事を言わないで、逆にお布施をいっぱい取ろうという。欲心ですね。欲心と清浄心は合わない。

無量遠劫の時間帯ですね、来世とか一世、二世と考えた場合にはとんでもない話、現代の頭では考えられないけれど、さっきも言ったようにこの宇宙は、消えて発生して消えて発生する、宇宙自体も、花のように。どうして無いものから発生して消えて発生するのか？と思うでしょう？春のね、タンポポが出て来るでしょう？冬に消えるでしょう？また春に出て来るでしょう？その大地から出て来るでしょう？それをブラックマター＝ダークマターと言います。というこの科学では、もう、考えきれないエネルギーがあるわけです。私達が見ている宇宙の光は物質として測定出来るのは5%もない。その事を話したはず。

だから、そういう事を踏まえなくて、ただただ頭だけで考えて、私達の存在を考えた場合には、ポイントが欠けてしまう。だから、しつこく時空の事、カルパとか、カルパにもいろんなカルパがあって、長さもいっぱいあって、測定とかそういう事までお話したけれど。そこをしっかり分からなければ、お釈迦様のこの話も明快に理解出来ないわけです。ポイント。時空が結局、非常に長い時空で動いているから。

だから、人間は「おっ死んだ、よし次の人生」そんなもんじゃないですよ。無色界に生まれた場合には、最高の所は6400回宇宙が発生して消滅するというでしょう。その宇宙はどのくらいあるのかと言えば、この地球を粉々にして砂みたいにして、その一粒一粒の宇宙があるというのだから。お釈迦様が。

実際にそうなのです。測定しただけでは見えない。無量阿僧祇劫の法門をやれば、それが観えます。その通り観えます。

ところが、口だけでしょう？一体それが何を意味しているかも。全然。たた言葉だけで。無量阿僧祇劫の法門というのは、有名な中国の禪師が「一杯のコップ下さい」と。「私は宇宙をこのコップに入れてしまう」という事を指しているのだけれど、西洋の物理学者は大変びっくりしてしまっ。この事だけでも、実際にそういう世界がある事が分かってしまっ。という非常に進化した事で

あるから。

この日本はね、世界最大の仏教経典国なのです。それを明快に説明しなければならぬわけです。経典の上で。それが今、西洋の真似をして、逆に。プラナーナの瞑想とかヨーガとか。これは全部アメリカの、混ぜた変なものが来て、本物は来ていないのです。ヨガと言っても、何十時間も立たなきゃいけないからね、ただ格好だけじゃないですよ。

ヨガをやる理由も、ウパニシャッドの禪定に入る為の事であって、ヨガの最高の行者はシヴァの神。という本題を外して、誰でもヨガやれば、悟りを開く、最高のヨギ。ところが、お釈迦様は最高のヨギを超えた方なわけです。

話、逸れてすいません。本題の底辺をしっかりと分かるように、でなければ一生を無駄にしてしまう。

全てはカルマ・因縁

【参加者】

瞑想をやっている、上手く行っている時は良いのですが、上手く行っていない時は、清浄心が欠けている？

【水源師】

そうじゃないのですよ。説明したでしょう？安慧菩薩が心の事を説明したというのは、空即是色にもなります。無量の心が発生すると。心の中で。無限等間隔で。それを無限に割ってもまた発生すると。いう事を説明したでしょう？それだけのカルマがあるから。スーッと発生する、消える。発生する、消える。

そこを分からなければね、逆にそれを押さえつけようとして。さっき言ったように荒難行をやって消そうと。お釈迦様はそれをやって、地獄を見たという所に関係して来ます。

【参加者】

上手く行かない理由はカルマなのですか？

【水源師】

そう。全てはカルマ。カルマだけによって発生し、カルマだけによって動いていると。生死というのは全て幻覚であって、生も死も無く、どこまでも動いて行きます。

【参加者】

カルマというのは因縁と同じですか？

【水源師】

はい。そうです。因縁とはカルマの事。因果応報と言うのでしょうか？実際にどういう事が因縁であるか、昨日説明したわけです。ゴータマ菩薩様が先生に「口を慎まなければ、こういう事になりうますよ」と逆に教えて、命を救ったわけですね。

バナラーシで二頭のヤギが喧嘩して、頭突いて喧嘩していました。それを止めようとして入った鳥が「止めなさい、止めなさい」と。そう言って、「喧嘩を止めないなら、私の中に入って、私をまず殺しなさい」と言って。だけど、小鳥がドーンと中に入ってつぶされて死んじゃったのです。つまり、そういう事を先生はしていると。止めなさいと。無駄な事。

でまた、ある人が大きな木に登って果物を獲っていました。ところが大蛇が上がり来て、獲っている人を、毒蛇が噛みつかうとしているから、皆が「降りてこい、降りてこい」と。降りられないから、四人の下に居る人が風呂敷を広げて「ここに飛び降りろ」と。梢から落ちたわけね。そうしたら、結局、四人頭ごっこ。落ちた人も死んで。五人とも死んでしまった。つまり、無駄な事、間違った考えは止めなさいという事。

自分は歯が抜けておじいちゃんでしょうか？若い、嫁さんでしょうか？離婚したいわけです。それを殺そうとしたわけ、企んで。恨みを恨みで返すという事を止めなければいけないわけですね。それが、そのチャップリンがするわけです。欲とかそういう事から入って行く。

その当時、丁度、カーリーという高貴なお茶屋をやっている人に、結局、高貴な方や金持ちが来てね、千金のお金を与えて。ところがこの金を弟にやったら、ギャンブルとか飲んで全部捨てるから、このお姉さんのカーリーが怒るわけです。無駄な事。お姉さんが怒って、召使達に「この、弟が来たら、叩き出せ」と。というのも、遊んで飲んで、お金をすぐ投げてしまうから、頭に来たわけですね。

そしたら、そこに来る大金持ちがそれを見て「おお、どうしたんだい？」と。カーリーさんの弟＝コカリアの前世は「いや、実は、こうこうで泣いている」と。

「よしよし」と、お姉さんにその事を言ったら、「あんたが、私の弟を可愛がるのだったら、あんたが面倒全部みなさい」と。そして、今度は逆に、大金持ちが弟を連れて、お茶屋で遊ぶわけです。そのお姉さんは、その金銭を半分は召

使にやって、半分は家を綺麗にするとか、そういう風にして。

「弟と遊びに来たお客さんに酒を出すな」と。「帰る時に、全部服を剥いで、裸にして返せ」と。という風に、つまり、善意でやっているつもりが、無駄な事をやって、逆にバナラーシの町中の笑い者になったわけですね。こういう事を何回も繰り返すわけです。

最後には、シャーリプトラ様とモッガラーナ様という立派な人が来ても、こんな事をしたでしょう？で、それを訴えにお釈迦様の所に行って、お釈迦様はどうとう頭に来て、席を立ったわけですね。席を立った瞬間に、コカリアの身体がぶくぶく膨れて、この世には無い痛みを感じて、悲鳴を上げた。その声がブラフマーの世界まで伝わって、ブラフマー トゥードウが降りて来たと。だから、そこです。清浄心。その通りです。



水上の御寺 ヤンゴン ミヤンマー

自分の生死を観る事で苦が消滅する

【参加者】

先生、くどいのですが、上手く行かなかつたら、カルマだと思ってあきらめるのですか？

【水源師】

いや。カルマが発生したのを観て、それが静まります。ですから、このお経が非常に大切なわけです。何が発生しているのか行者は分かるけれど。

無限×無限＝無限。無限÷無限＝無限。これは数学的にしか解析出来ないわけです。ところが、カルマが無限に発生と。最初から最後という時間は無いわけです。もう、どれくらいの時間帯が経っているか。という事を私が、何回も何回も説明したのは、カルパという一番小さい単位でもこれ位で、無量阿僧祇劫の時間帯となったらどうなりますか？時間帯。という時間帯もすつぽり入ってしまう。無限だから。

という中に、私達は生きているから。それをインドラの網という、永遠に抜け出せない苦の中に私達は居るわけです。生死を超えた時に、苦が消滅します。という事は自分の生死を観た時、何回も自分の過去世を観て「ああ、こういう事だ」と。

だから、南伝でもそれを観る法髓観、北伝でも達磨多羅禅経。ここにちゃんとあるわけですよ。結局、アナパナをしっかりやって下さいと。アナパナから入って行くから。アナパナを通して、今度はニミッタを出して、第一禅定、第四禅定に入って、カシナの行法に入って第八禅定に到達して行かなければならない。カシナが終わったら、四梵天住でしっかりと大宇宙を観た後で、今度はもう一回確かめる。本当にやったかどうか。その後で、四界分別をやらせる。その後でナーマルーパ、名色の行に入っていきます。

結局、北伝でも南伝でも一緒の教科書に入っていくわけですね。実は。ところが、こういう事は未だに発表されていないし、見聞しませんでした。

今から8年くらい前かな？その時、「こういう経典があるよ」って、たった一人、日本で文学的に研究している人がいるというくらいで。これは文学的に出来ない経典なのです。

ジャータカ物語に何をすれば良いかが書いてある

という、どっちも行を取めて繋がりが分かりますけど。それにジャータカ物語のこういう話を絡めて分かるわけであって。それが一つだけやっても、金剛般若波羅蜜多経は凄い事を書いています。これをやっていけば、必ず心が浄化されて行くと。その内容、どうしたら良いかという、一番簡単な目印が、金剛般若波羅蜜多心経の、ここの中にポンポンポンと書いてある。この教科がここになるという事を書いている。それをどうしてやったら良いかという教科が明快に書いているアビダンマ（阿毘達磨・毘曇、説一切有部：三世実有法体恒有は教科の一部分）のここにあります。

その行程は何ですか？と言ったら、お釈迦様の過去のジャータカ物語にちゃんと明快に、何をしてもどういう風にしたらかという事が書いてあります。それが全部繋がって、やっている行が間違いないという事を確かめなければいけません。

禪定に入ったなら法随観が出来てニミッタが出るはず

やっている行の進化はどうかというのは、サティパターナでダンマヌパッサナーが出来たら、チッタヌパッサナーが出来なければいけない。チッタヌパッサナーが出来たら、結局、ヴェーダナーヌパッサナー。最終的にカーヤヌパッサナー。四つの法門が必ず通過しなければ、何処かで間違いがあることになります。

禪定に入ったという事ならば、簡単に法随観が出来て、ニミッタが出るはずであって。それがなければ、おかしい話。全部繋がっているわけです。

だから、こういう話を、南伝の人は「よし、じゃあ、この教科やってくれ」と。で、出来なかったら、「お。完全に嘘だ」という事で、黙っている。仏罰が決定するから。何も言わない。ほっとく。教えない。一切教えない。大変な事ですよこれは。日本の国がすっぽり、海の中に沈むという事が、あの有名な、誰だったかな？アメリカの預言者？

【参加者】

ノストラダムス？

【水源師】

違います。アメリカの 1960 年代に凄い預言ばかりしたエドガー・ケーシー、その教本がバージニアユニバーシティにあるけど。

本当にこのままだと、日本が沈むよ。皆さんが一人でも法を持てば、もう、持っているから、一安心しているけど。あなた方が死んだ後は、分からない。永遠に生きてくれなければ(笑)。まあ、話が逸れて。

莊嚴浄土

結局、お釈迦様は燃灯仏の下で学びましたと、莊嚴浄土文。何故、莊嚴浄土と言うか。仏が居る所は浄土なのです。その当時、六部と言って、ありとあらゆるヒンズー教の先生方が反対して、「何も浄土に見えないじゃないか？」と。ところが、仏が発生した事によって、何も見えないけれど、浄土であるという事を言っているわけです。

そして、その中で、こういう事を学んだ方は、学んでしっかり受け止めた方は、大宇宙を七宝＝七福神の宝で埋め尽くす以上の高德があります。というのは、このお経から全ての仏が出ているからです。このお経が基本で。だから、これを読んで、すぐ分かるというものではないのです。六祖大師様みたいに、過去永遠と一仏、二仏、数えきれない位の仏の前で、お布施したわけですね。

そういう事によって、このお経に出会って、聞いただけで仏の位に上がって。この方が死んだ時は、三日間、空が明るくなり、周りの木も全部、白くなりました。お釈迦様が死んだ時に、沙羅双樹が全部白くなったと。お釈迦様が死んだ時もそうです。

弘法大師様の時は、般若心経を書いている時に、夜が昼のように明るくなったと。岩の中に入って行ったと言うから。そこの点は分からないけど、よく弘法大師様がそういう行者の姿で出て来たと。白い服を着て。「あれ？」という風な不思議な体験をしている方があっちこっちにおられます。

だから、その世界は私達には考えられない事です。メディアの世界の下で暮らしたら、頭おかしくなるから。お笑いは良いけれど(笑)。真剣に、それにのめり込まないように。

この中で、こういう風に、四つの言葉でもしっかり解る方は、成就最上第一級の法を受けたという事。これを全部解らなくても、この中で、たった四句だけでも、しっかり解った方は、宇宙の限り無い宇宙の中でも、最上第一級の法に触れたという事ですね。そして、「このお経の名前を金剛般若波羅蜜という、お前に与える」とお釈迦様は須菩提長老様に法を託しました。

光となって現れる仏の三十二相

この三千大世界にある塵芥の数、非常に考える事が出来ない位の数ですね。また、数の問題に入って。そして、無量の数の塵芥のこの世界、この世界に三十二相を持つ仏の形をした、如来=タサガタを見る事が出来るか？もし、そういう顔が在って、見た場合には、それは偽物であると。こういう無量の世界で、もし在ったとしても、それが観えない所に三十二相が観えると。

結局、お化粧してそうしているのではなく、心の進化した状態という事だけれど、私の言葉で言えば。それが光となって、出て来るわけです。お釈迦様みたいに。それで、三十二相とか、いっぱい言うでしょう？耳の長さとか。同じ姿をしていたらブツダだと。そうではない。そういう表面の形では仏は見えない。という事を言っています。



「忍辱」 耐え忍ぶことによって清浄心を得る

一心、この清浄心をどういう風にして獲得出来るかと。世尊に聞いたわけですね。この時に、こう言ったわけです。「私はその昔、自分の体を、仮王に完全に切られて、伐採されたと。バラバラにされて。でも私は、その時に、人間が持つような恨みとか、一切の恨みを持たなかった。そういう恨みを持たないという行を 500 回した。忍辱、つまり、耐え忍ぶという行を 500 世やった事が、第一波羅蜜である」と。この清浄心の中で。

というのは、さっき言ったココリアさんが、シャーリプトラ様とモッガラナ様が変な事して嘘を付いたとお釈迦様に言ったでしょう？自分の所にはお布施が来なかったと。物が来なかったと。つまり自分が悪い事をしながら、そうしているわけですね。つまり、逆恨み。

ブラフマー界のブラフマー・トゥードゥが降りて来て、「止めなさい。これ以上言うのは」と。それでも、聞かなかったから、「忍辱で、じゃ、止めましょう」と。それを止めなかったから、最悪の地獄の下に落ちて行ったと、言ったでしょう？昨日。そういう風に、一切の想い、あれだこれだという自分の欲心を離れる事によって清浄心が発生すること。

というのは、自我、私と、想は私によって発生するから。つまり、どんな生命体に入っても、私。ワンコちゃんになればワンコちゃんの私、ブタちゃんになればブタちゃん、鳥になれば鳥という、想を離れて鳥であっても、それをじっと遠くから観る私、つまり一切が幻影であるという風に、解れば。

それを解るのは、はっきり生死を観なければ、頭だけだから、いくらやっても、そういう想を離れるという事は、難しい。

ここで、ちょっと、変な話をしますけど。オウム真理教の浅原。死刑になる時、その時に、もの凄く暴れたって。全部嘘だったわけです。暴れるわけがないのに、彼が本当に、そう思って、最後まで信じたら、素直に死んで行けるのに。凄く暴たらしい。何故暴れたか分かる？地獄を見ているから！その前は見えていなかった。

地獄がどれだけ恐ろしい所か分からないでしょう？それで、四梵天住をやれば、それが観えるのです。だから、四梵天住をやらせるわけです。最終的な四界分別に入る前に。

間違った教えを信じた者も一緒に行ってしまう

という風に、事細かに、私達を助けるような教科をお釈迦様が作ってくださったわけです。それを今の時代になって、あーだこーだと言う、その空恐ろしさ。その空恐ろしさも分からない狂気の世相。

こういう風に、一切衆生の為の益を説くと。こういう風に「不応受、聲香味触法心」つまり、般若心経の「無色聲香味触法」ここにちゃんと、大事なポイントが書いています。それをもっと詳しく、何故それが必要かという事がここにもっと詳しく書いてあります。

ではそれをどういう風にやって行ったら良いかという事が、南伝の法随観、又はここにチラチラと書いているけれども、この行法、この文献だけでは、先生がいなければ難しい。北伝の方は一つ一つ解析して行かなければならない。こっち（南伝）もそうだけど。

こちらは、私はウレワタ・バンテから、この本だけでは絶対に出来ない様に書いています。ポイントがあります。すぐ、嘘付いているとか、間違った事をしているのが分かるから、黙っている。人に間違った事を教えて、皆それを信じた場合には、信じた人も（悪い所へ）行ってしまう。そういう話をしたでしょう？前世電話番号間違った事を信じたが故に、この世では私と一緒に行を達したけど、人には教えないと。

アングリマーラの話もしたでしょう？間違った先生から教えられて、999人の命を獲って、お釈迦様が、最後に自分のお母さんを殺そうとした時に、止めたわけですね。この人は純真な心でやったから。悪意無くやったから。この人は無間地獄に落ちる手前で、止めたわけです。この方は、アラハトになって、涅槃に達したけれども、その前に、死ぬ前に沢山の人を救っているわけです。その話がまだ出ていない。こっちの方（日本）まで。その文献はインドの方にはちゃんとあります。

ジャータカ物語、黄金の鹿と金持ちの息子(お釈迦様とデバダッタ)

そこで、極悪人と言って、死刑にするべきかしないべきかの大論争があるけれど。お釈迦様が、ある時に、デバダッタが大金持ちの息子に生まれて、お父さんお母さんが死んで、遺産で飲んで食って、遊び仲間がどんどん来て、毎日遊んでいるから借金が出たわけです。

皆から、やいやいと「金返せ、金返せ」と言われて。「よし、あそこの土手に両親の財産があるから、掘ってみろ」と。そう嘘を付いて。川があるから、掘

った人間が溺れるだろうと思ったけれど、逆にそれがバレて放り投げられたわけ、川に。

放り投げられて、その時に、「助けてくれー助けてくれー」と言ったら、丁度そこに、ゴータマ菩薩様が鹿になっているわけね、黄金色の鹿で、それは見事な鹿で、角も銀色で、尻尾は雄牛のように。口も真っ赤で、目は宝石のような、この世にあるかという風な、やっぱり菩薩ですからね、そういう姿で出て来て。「おーそうか、よしよし」と言って、流れの急な所に行って、背負って助けたわけです。

「ありがとう」と。「よし」と。「あなたを助けたけれど、この事を約束して下さい」と。「私がこの森に居るという事を、絶対に誰にも言わないで下さい」と。そして、デバダッタをバナラーシの街に返したわけですね。

その時に、王様の妃がね、「この世で見た事のない金色の鹿を見た」と。それから「凄い教えを受けた」と。あまりにもはっきりしているから、この黄金の鹿は絶対に居るはずだと。「よしよし、それでは、聖達に聞いてみる」と。聖というのはブラーミンですね。乞食してお布施もらって、森で質素に暮らしている。そうしたら「居りますよ」と。「おお！何処に？」と。「森の中に居ます」と。「よし、バナラーシの全軍を集めてこの鹿を捕まえろ」と。

そうしたら、丁度この鹿の居所を教えた人には千両箱一箱与えると。ま、金の入ったね、千両箱の方がしっくり分かるはず(笑)。大金ですよ。千両箱。

デバダッタは約束を破って「王様、私はその場所を知っています」と。ところが、助けられたわけでしょ。ゴータマ菩薩の鹿に。約束を破るわけですよ。人間というのは憐れなもの。何時もこれをやるわけです。

王様は喜んで「よーし、捕まえに行こう」と全軍で囲んで、「真っ赤な沙羅双樹と川に生えているマングローブ、真っ赤でしょう。あそこに居ますよ」と。「そうかそうか」と。ズーっと囲んで。

ゴータマ菩薩＝黄金の鹿は「これは、大変だ」と。「大変な事になる自分の命が」で、ズーっと見て、王様が居たわけ。王様は捕まえたいわけです。殺したくはないわけ。妃に「連れて来る」と。妃は、鹿から凄い教えを受けたと、どうしても会いたいという事で。

黄金の鹿は人間の言葉で話すわけです。不思議でしょう？あるわけないでしょう？ところが、カンボジアの伝説では、ある牛が人間の言葉で話すわけです。この牛は仏教の非常に深い話の秘伝を持っているわけです。何をやっても、正しい事を言うし、どういう状態にあっても危機を乗り切る、そういう事をカンボジアの人に教えたわけです。

で、この牛をタイの国がとうとう手に入れて、今でも宮殿の中にしまっているとっているよ。その話は普通の人からではないのです。国会の議長の娘さ

んからお話を聞きました。その人はキリスト教。仏教じゃなくても、代々凄
お布施しているから。そういう秘密の話を教えてくれました。ま、そういう事
で。

だから、今、鹿が、凄い事を美しい人間の言葉で話すと。夢の中で。実際に
そういう風に話して、デバダッタにも人間の言葉で話して「絶対に教えちゃい
けない」と。

で、王様の所へダーッと走って行ったわけですね。王様は射止めようと、で
も、殺したくない。それで、ゆっくり近づいて行ったから、王様もスーッと射
るのを止めて、弓矢を落としたわけ。で、王様に優しく語りかけたわけです。

王様も「素晴らしい、この黄金の鹿は」と。で、ゴータマ菩薩がね「私の場
所を教えた大金持ちの息子は、悪い男です。私は彼を助けたのに、逆にこうい
う風に、裏切った男です」と。王様は怒って「よし、すぐ殺す」と。「いや、王
様、止めなさい」と。「あなたは約束した通りの金をデバダッタに、千両箱を与
えなさい」と。「殺してはいけません」と。

それを聞いた王様は増々敬服して「私は、もし、この王国が潰れようとも、
あなたを裏切らない、あなたを殺さない」という約束をした。これをブーンと
言います。英語ではブーン。昔はキングがブーンを与えたら、もう絶対的なも
ので、これはラーマヤーナにも絶対的なものの言葉。ブーンというのは、それを
破れば神の怒りをくらうぐらい、人間の言葉、絶対に約束を破ってはいけな
いという事なのです。王様はそういう言葉を鹿に与えたわけです。



阿羅漢の修行された公園、スリランカ

十波羅蜜

その時に十波羅蜜を教えたわけです。六波羅蜜は知っているでしょう。十波羅蜜は六波羅蜜に四つ付けます。

方便。方便を使って、ゴータマ菩薩がやったように、先生を助けたでしょう？嘘ではないわけですね。結局地軸が狂っているから、夜に行をしたと、そして、羊を殺して埋めたという方便。それから、そういう方便を得たいという願いが第八番。

九番が、この人が良いか悪いかという善悪を見る智慧ですね。その力。眼力と言います。願い。ここが眼力という、ところが、今は何の意味か。「おお！眼力凄い」(笑)。

そういう方便を得たいと願う、波羅蜜の行動をします。そういう行。で、この人が良い人か悪い人か、そういう力を得ると。十番、最後には、本当の智慧を得たいと。究極の智慧を得たいと。で、つまり、阿耨多羅三藐三菩提をどういう風にして手に入れたら良いかという、その過程がここにあつて。究極の虎

の巻がここにあるわけです。安慧菩薩様のこの事。こういう事はどんどん言って良いのか？

言葉には責任が生じる・仏教は言いたい放題ではない、責任が出て来る

ですから、言葉を話すときは、まかり間違っても、狂った言葉を言うてはいけない。「私はこれを知っている。あーだこーだ」と。特に仏教。これをやったら、もう、ここに書いてある。地獄にまっしぐら。狂言。本当で無いのに本当だと言ったら。問題はね、それを信じた人まで行ってしまうという事。今は何でもありで。言いたい放題で、言論の自由。ではないのです。責任が出て来る。そういう事をやったら、永遠にお釈迦様の教えには出会えないと言っています。

こういうお経を日本のお坊さんが説明したら、恐ろしくて、絶対に法曹界では、こんなめちゃくちゃな事はしないですよ。分からないが故になんぼでもやって。その後、それにどんどん乗せて、皆一緒に「そーだそーだ」と。

ガンになるどころの話じゃないですよ。どれだけの無量の時空を地獄で過ごさなきゃいけないのでしょうかねえ。ガンで死ぬのだったら、新しい生命体に入れば良いし、良い事して死んでいけば、入るのだから。何も大した事ない。ところが、こういう間違っただけをした場合には、大変な事ですよ。

ただ、こういう風な無想の行で、この法を行えば、さっき言った清浄心、波羅蜜の行ですね、それをやれば、もうこの人は、天が明るく光るように、悟りの世界は間違いなしと。これが、如来の智慧を得るのは間違いないと。全てこういう風に、こういう心で布施をする。で、こういう風に又、人生を送って行けば、無量無辺の高徳を得ますと。という事です。

で、もし、お経をしっかりと心に受け止めて、体得する方は、午前中に恒河砂の数=10の52乗の数、京=10の16乗、垓(がい)というのがその上。億、兆、京が16乗、垓が20乗。その上の極(ごく)というのが48乗。だから、ま、それだけの命を捧げるより、高徳があると。午前中、中日、午後、三回恒河砂の数の命を捧げる事よりも、こういうお経を確りとやった高徳の方が大きいと。

ただ、この日本で一生「プロ野球だ！オリンピックだ！マラソンだ！」そりゃあ、悪い事ではない。それを恒河砂の数、午前中、午後やるよりも、じゃあ、一体どれくらいの時空を過ごさなければならぬのですか？という事よりも、こういう事をしっかりと勉強して、良くこれを理解するほうが。

不可量、不可称、無辺、不可思議、これ全部ナンバー、数。想像を絶する高徳があると。

「ああ。それ、嘘でしょう」と。そう、信じなかった場合にはこれは、全部消えますと。これをしっかりと、「これをやらなきゃ、いけない」という人を上

品を言います。上品。「そうかなあ」と思う人が中品。「そうじゃないでしょう」という人が下品。下品(笑)。私が言っているのではないですよ。上品、中品、下品とあるでしょう。ここから来ている。

お経をしっかり勉強して体得して行けば、前世の悪行も消す事が出来る

で、Cさんが質問した「そういう障りはどうやって取ったら良いのでしょうか？」と。浮いてくるから、カルマで。なかなかそれは難しいよと。ところが、こういう、今日はしっかり勉強して、体得して行けば、つまり、どんな卑しい身分でも、悪党の世界に居ても、前世で悪行を尽くした人でも、これをやれば阿耨多羅三藐三菩提を得るといふ凄いお経なのです。

つまり、そう難しく考えなくて良い。生死をしっかりまず観るといふ事。時間がないから。時間があればゆっくり法随観で観ます。この日本では法随観を出来る状態ではないから。空の世界をまず通過した方がよろしい。空をやれば、後でゆっくりと法随観が出来ますから。

もし、私が生きていたら、教えます。あの世に居たら、パオに行ってください。ただし、ミャンマー語を勉強しなければいけないかもしれない。今でも、英語をしっかり話す先生は居ないから、ましてや日本語で教える先生はいません。

そうじゃなければ、観音海潮音禅教えたでしよう？それをやって下さい。Cさんが良く出来るから聞いて下さい。阿弥陀の国に行けば大丈夫。じゃなければ、大阪の友人のU君に、毎日本水をあげに来なさい、阿弥陀さんに。極楽浄土間違いなしって。喜んでた(笑)。

つまり、私達にビルディングを無料でお布施してくれましたでしよう。その上、阿弥陀さんに毎日本水をあげに来て、そりゃあ、良い所へ行きます？何にもしないで、「行きたい、行きたい。」では行けません。でなければ、本当にこういう行です。を修行すれば、そういうチャンスがない方でも、このお経をしっかり勉強すれば、例え前世で極悪非道をして、これをしっかりやれば、そういうものは全部消えますと。

「私が説く阿耨多羅三藐三菩提は過去無量の阿僧祇劫において、燃灯仏の前で説く、値、八百四千万億那由他諸仏に供養したよりも凄い」と。

何故数字の事を何度も説明するのか？

結局、私が数字を言うのは、阿僧祇、那由他、どうしようと。那由他=10の60乗。もう、全宇宙の銀河の数よりも大きい。それでしつこい位に言うのは、ここがあるからなのです。ここを説明しなければね、パワーツとして、「あー聞

いた一」。それで、しっかりここに入って来ます。

ですから、ある程度、ある程度現代物理学がどの程度行っているかで、検証して行くわけです。そのナンバーとか。その後で、アナパナが非常に大切だと、ここに書かれています。北伝でも。南伝はそのやり方を逐一教えています。

というインストラクターが必要です。残念ながら日本にはいません。という非常に大切な事です。これをやる事によって、このお経が手に入るわけです。行です。大変な事です。

六祖大師がこれによって、あれだけ偉大な禅師達を排出して。未だに続いているでしょう？その事を言っています。これを説明する中核がこのお経にあるという事。だから、分断したお経は無いという事です。その実際の行動として、お釈迦様が小さい子供を助けたでしょう？長者に出会って、奥さんが飛び出して、燃える火の中から。お釈迦様はすぐ分かるわけです。ありとあらゆる知識を持っているから。すぐ裏に周って「この窓の丸太を壊せ」と。それで子供をスッと出した。

それをすげ替えた場合にはどうなるか？分からない私には。私もお手上げ。そんな事したら、ジャータカ物語のお釈迦様の話を聞いたらぞっとしますよ。だから、ジャータカ物語は大正時代に書かれた大正ジャータカ物語という訳があります。でも、これくらい詳しく書いた日本版のジャータカ物語はないです。

だから、今聞くあなた方は、私の雑な解説だけど、英語版で。(海外生活の経験がある参加者に向かって) オーストラリアに居たから助けてくれるんじゃないの？一緒に助けてくれるんじゃないの？(笑)。こういう訳とか。

まあ、そういう事で。結局ね、そういう英語を覚えてここに来ているから、そういう風に考えて下さい。我も彼も無し。こういう法を、一生懸命修行して、実践してくださったら。

この日本が沈む、誰だったかな？忘れた。ここまで出て来ているのに。ニューヨークタイムズに出て「日本が沈んだ一海の底に沈んだー！」って。それで、小松左京さんの「日本沈没」が出て。サイエンスフィクションで。皆ワーっとなって。つまり、その预言書があるから。(※预言者エドガーケーシーの事)

ま、いいです。恐ろしい話は。じゃ、今日はこれくらいで。



水源禅師法話集 111

(2019年5月1日 山梨合宿5日目)

2019年7月8日発行

編集兼発行 一乗禅の会